

## 平成 25 年度下水道革新的技術実証事業の評価結果について（下水処理研究室分）

●平成 24 年度に採択された下記の 5 技術については、平成 24 年度に引き続き、技術の完成に向けて平成 25 年度の実証研究が行われた。下記①～④の技術については、十分な成果が得られ、ガイドライン化が図られた。⑤の技術については、実証施設の不具合等により、実証研究の進捗に遅れが生じたものの、一定の成果が得られており、今後ガイドライン化を図る予定である。

なお、いずれの技術についても、今後、技術の普及展開を図るとともにさらなるデータ取得の継続、知見の蓄積等が取り組まれることを期待する。

### 平成 24 年度採択技術

- ①廃熱利用型 低コスト下水汚泥固形燃料化技術（JFEエンジニアリング）
- ②管路内設置型熱回収技術を用いた下水熱利用に関する実証事業（大阪市・積水化学・東亜グラウト共同研究体）
- ③固定床型アナモックスプロセスによる高効率窒素除去技術に関する実証事業（熊本市・日本下水道事業団・タクマ共同研究体）
- ④神戸市東灘処理場 栄養塩除去と資源再生（リン） 革新的技術実証事業（水ing・神戸市・三菱商事アグリサービス共同研究体）
- ⑤温室効果ガスを排出しない次世代型下水汚泥固形燃料化技術（長崎市・長崎総合科学大学・三菱長崎機工共同研究体）

●平成 25 年度に採択された下記の 2 技術については、自燃運転や定格発電量の達成など当初目的に対し一定の成果が得られた。今後は、通年運転データの取得による運転性能の把握、安定性の確認などが必要なことから、平成 26 年度も引き続き研究を実施し、ガイドライン化を図ることが望ましい。

### 平成 25 年度採択技術

- ①脱水・燃焼・発電を全体最適化した革新的下水汚泥エネルギー転換システム（メタウォーター（株）・池田市共同研究体）
- ②下水道バイオマスからの電力創造システム（和歌山市・日本下水道事業団・京都大学・（株）西原環境・（株）タクマ共同研究体）